

第98回:清国と日本…シュリーマンは見た!

早いもので今年もそろそろ師走の季節である。最近の新聞雑誌は、年末にビジネスやエンタテインメント等の出版分野で、ベストセラーや、投票形式のランキングを発表するのが恒例となっているようで、たまたま筆者にも書評の要請があり、さる週刊誌の求めに応じて今年最も面白かった本について書いたばかりである。筆者の今年度ベスト・ワンは150年前の旅行記である。

H. シュリーマン著 「シュリーマン旅行記—清国・日本」 講談社学術文庫(840円)

新刊書ではなく10年以上も前に発行された本である。書名は知っていたが何しろ講談社学術文庫であり、学術に尻込みし、これまで敬して遠ざけてきた。著者はトロイ遺跡の発掘で有名なハインリヒ・シュリーマン。彼の偉業については、子供のころに「世界少年少女偉人伝」を読み、高校時代は、「シュリーマン自伝・古代への情熱」に感動し、一時考古学に憧れた時期がある。ドイツ北方の小さな町で貧しい牧師の家に生まれたシュリーマンは8歳のとき父親から世界の歴史の本をプレゼントされ、挿絵入りのトロヤ戦争に夢中になる。そしてトロヤ戦争が神話ではなく実在の歴史だと確信し、将来必ず遺跡を発掘すると家族と幼友達のミンナに約束する。ここまでは感受性豊かな子供が抱く可愛らしい夢であるが、彼の偉大さはトロイの発掘を実現させるためにがむしゃらに働き始めることである。貧しいシュリーマンは学校にも行かせてもらえず、14歳で商店の丁稚奉公に出される。その後苦労してオランダの貿易会社に就職し、そこである程度生活基盤を得て、幼友達のミンナにプロポーズしようと数年ぶりに彼女の消息を尋ねるが、彼女は数日前に結婚したばかりであった。その失恋のショックを忘れるため、彼は益々仕事に没頭し、貿易必須の外国語を手当たり次第学び始める。高等教育を受けた経験のない彼の学習法は単純で英語、フランス語、ロシア語、トルコ語、オランダ語、ギリシャ語、ポルトガル語、スペイン語、スウェーデン語、イタリア語、ラテン語、アラビア語を「読み・書き・覚え・喋る」というパターンを何度も何度も繰り返すというもの。部屋の中で暗唱する大声が嫌われ、何度も下宿屋を追い出されたというから凄ましい。そしてロシアに移住し「インド藍(あい)」の貿易と、クリミア戦争に乗じたロシア向け武器輸出で巨万の富を築き上げる。いまの時代でいえば、W.バフェットか、B.ゲイツに比肩する大富豪である。そして1963年、41歳のとき全ての事業を畳み、トロイ発掘の準備を始め、1870年から調査発掘を開始する。

前置きが長くなったが、シュリーマンは貿易事業から撤退し、遺跡発掘の準備をしていた1865年、突如世界漫遊の旅に出かける。そして、その途上に立ち寄った清国と日本(明治維新の3年前)の記録が本書である。この旅行記で感心するのはシュリーマンの貪欲な好奇心と極めて細かい観察力である。北京の家は全て二階建ての石造り、道路側に窓がある。もしその家が商店であれば、奇怪な怪物や龍を巧みに描いた彫刻で飾られている。その北京には三つのエリアがある。皇帝の街、韃靼人の街、そして漢人の街。欧米のオペラは舞台と平行に客席が設けられ、そこで観客は静かに劇を楽しむが清国は違う。この国では舞台と直角の向きに客席が配置される。そのテーブルには酒やお茶、饅頭や向日葵の種などが並べられ、観客は飲み、食い、齧り、騒ぎながら劇を楽しんでいる。シュリーマンの緻密な観察は風景・風俗・遺跡等に広く及んでおり興味深いものがある。彼は香港から天津経由で北京に入り、万里の長城を見るため、わざわざ

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

河北の奥地まで訪ねている。中華料理を食べようとしても不器用なため箸が使えずアラブ人のように手掴みで食っていたら、店の主人が見るに見かねて爪楊枝を出してくれ、肉も野菜も全て爪楊枝に刺して食べたという。そのシュリーマンも中国の街の不潔さには辟易したようで、「ぞっとするほど不潔な天津の街角で、犬と豚と人が糞尿を争う」場面は、「坂の上の雲」における小村寿太郎(当時清国代理公使)の指摘とぴったり一致している。小村が北京に駐節したのが日清戦争の1894年であり、不潔な街並みは爾後30年も改善しなかったらしい。

そんな不潔な清国をほうほうの体で脱出して辿り着いた日本をシュリーマンは絶賛している。彼によると日本人は世界で最も清潔な国民であり、それは街の様子や日本人の服装だけではないという。たとえば、賄賂の授受は当時の未開発国では当然の現象であったが日本では違った。シュリーマンが横浜港に到着したとき、彼の荷物を埠頭に運んでくれた船頭は、わずか4天保銭(13スー)しか受け取らなかった。もしも天津のクーリーだったらその4倍は平気で吹っ掛けただろうとシュリーマンは記している。また横浜の税関でトランクを開けろと命じられたシュリーマンは、そのトランクを一旦開けてしまうと閉め直すのに苦労することから、清国と同じように賄賂を渡したところ、税関の侍は自分を指して「ニッポン・ムスコ」と言い、賄賂の受け取りを拒否したという。江戸時代に「ニッポン・ムスコ」という表現が存在したか不詳だが、たぶん「日本男児」という日本語を聞き取れなかったシュリーマンが、あとで誰かに発音を尋ね、その聞きとりのなかで誤解を生んだようだ。十数ヶ国語に堪能なシュリーマンはアジア言語にも興味津々であったようで、横浜・原町田・江戸を見学した記録のなかに「ハイハイ、アボナイ(危ない)」、「ナンガサキ(長崎)」、「ハラキル(切腹)」、「ポウサン(坊さん)」、「アタンゴヤマ(愛宕山)」、「オハイヨ」、「サイナラ」といった「ママ」日本語が頻りに登場し、彼の耳の良さと、鋭い観察力には感心する。とはいえ、富士山の標高4700メートルはご愛嬌としても、中間・奴・人足をまとめてクーリー(苦力)と断じるのにはやや違和感を覚える。「日本の家庭に家具は一切ない」、「日本人の家族は、毎日ゴザの上で一日を過ごす」、これも誤解だろう。当時家具を持たず、ゴザに座って生活する人も、どこかの橋の下辺りにいたとは思いますが、少なくとも旗本や御家人にはいなかったはずだ。「ゴザとタタミは似て非なるもの」、「日本の家具や箆笥は必ずしも客間に置くとは限らない」と注意したくなるが、日本びいきのシュリーマンに文句は言いにくい。その時代から約150年、日本も中国も大きく変貌を遂げたが、シュリーマンの鋭い観察はいまの両国に通じる部分も多い。ぜひ中国でも本書を大量に翻訳印刷し、北京や天津、重慶の街角で無料配布してほしいものである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

11年11月11日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3